

インド5州の議会選挙と市場の動き

ポイント① インド5州の議会選挙で与党が圧勝

2017年2月に始まったインドの5州での議会選挙は同3月9日に締め切れ、3月11日に開票結果が公表されました(図1参照)。与党であるBJP(インド人民党)は、5州合計690の定数に対し、前回獲得数の倍以上となる421議席を獲得しました。インド最大の人口を抱えるウッタル・プラデシュ州は、州議会の定数も多く、それだけに州議会からの間接選挙で選ばれる連邦議会上院への影響力も大きいと注目されていましたが、BJPは同州で定数403の過半数を大きく上回る312議席を獲得しました。

ポイント② 高まるモディ政権への支持

今回の選挙では、BJPがどこまで議席を確保できるかに市場の注目が集まりました。選挙結果は、モディ政権の政策が広く国民の支持を得ていることの表れとみられます。昨秋に突如発表された高額紙幣廃止政策は、国民生活への影響が懸念されていましたが、汚職や資金洗浄などの不正資金を一掃する強い姿勢が受け入れられたようです。また、今回の選挙に先立って公表された2017年度予算案が農村や貧困層に配慮した内容だったことも、BJPの獲得議席を拡大させた要因のひとつになったとみられます。今後も継続的に各州で議会選挙が行なわれますが、引き続きBJPへの支持が高まっていくのが注目されます。

ポイント③ BJPの議席数拡大を市場は好感

今回の5州での選挙結果を好感し、休場明けの3月14日時点で、インドの株式市場は前営業日比1.7%上昇し、史上最高値を更新しました。為替は、対円で同1.2%、対米ドルで同1.1%上昇しました。インド債券は朝方は買い進めましたが、その後発表された2月の卸売物価指数が市場予想以上に上昇したことから、伸び悩みました。インド5年国債利回りは6.95%で横ばいでした。

地方選挙での勝利は、連邦議会上院での議席数拡大に直結します。上下院のねじれが改善に向かうことで、2019年に予定されている総選挙も視野に、現政権は今後もさまざまな改革を押し進めるとみられます。

重要
イベント

4月6日 金融政策発表
4月12日 消費者物価指数(3月)
5月31日 GDP(国内総生産、1-3月期)

図1：5州の議会選挙でのBJP獲得議席数

州	定数	2017年	2012年	前回比増減
ゴア	40	13	21	-8
マニプル	60	21	0	21
パンジャブ*	117	18	68	-50
ウッタル・プラデシュ	403	312	47	265
ウッタル・カンド	70	57	31	26
5州合計	690	421	167	254

*パンジャブ州での獲得議席は協力関係にあるSADとの合計数

(出所) インド選挙管理委員会、各種報道資料より野村アセットマネジメント作成

図2：インド株式の動き

期間：2016年3月14日～2017年3月14日、日次



インド株式：S&P/BSE SENSEX

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

図3：インド5年国債利回りとインドルピーの動き

期間：2016年3月14日～2017年3月14日、日次



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。